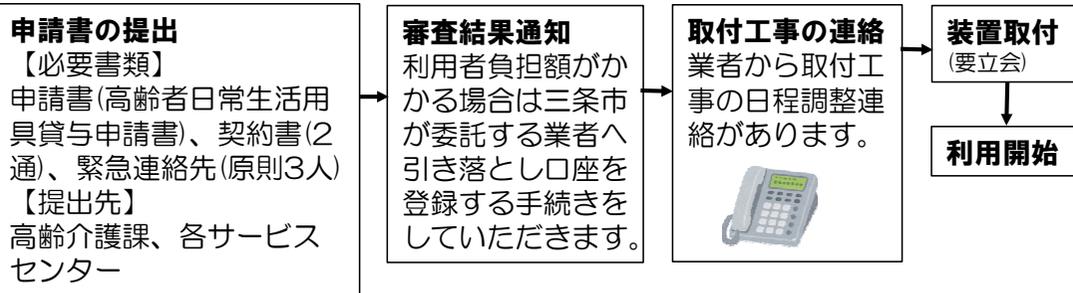


3 利用料金

世帯課税状況	利用者負担額 / 月	
	固定電話型	携帯端末型
生活保護世帯	0円	2,000円
市民税非課税世帯	0円	2,000円
市民税課税世帯で前年合計所得金額が80万円未満	500円	2,500円
市民税課税世帯で前年合計所得金額が80万円以上125万円未満	1,000円	3,000円
市民税課税世帯で前年合計所得金額が125万円以上	1,500円	3,500円

- * 毎年6月に課税状況を調査し、その年の7月分～翌年6月分までの利用者負担額を決定します。
- * 利用者負担額のある方は、市が委託する業者に口座振替でお支払いいただきます。
- * 緊急通報装置の取付・撤去工事で利用者の料金負担はありません。

4 申請の流れ



5 緊急連絡先について

緊急連絡先とは、利用者の緊急時にコールセンターから状況をお知らせする方で、親族や近所の方など、優先順に原則3人の登録をお願いしています。

【緊急連絡先に登録された方の主な役割】

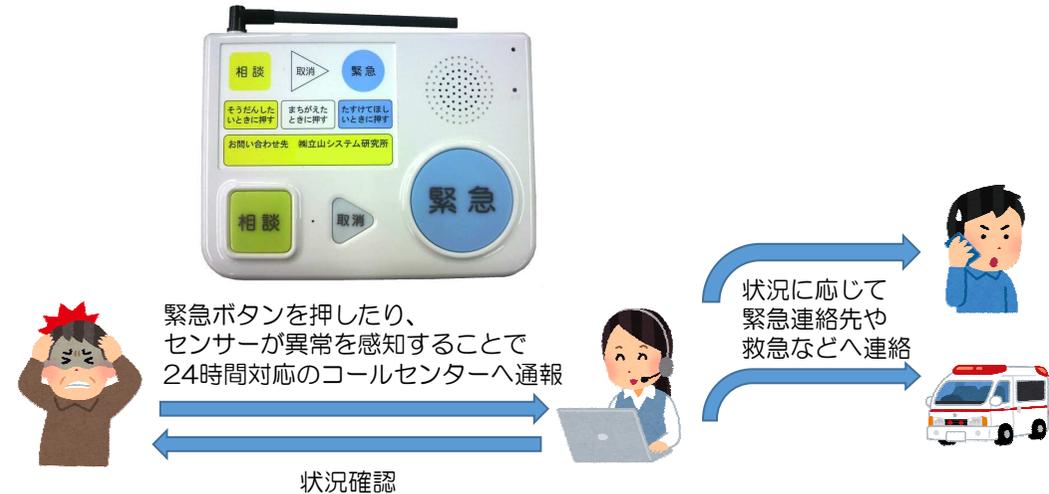
- 利用者の異常が感知された場合に、コールセンターが状況をお知らせする電話を掛けたり、利用者宅を訪問し様子を確かめていただいたりする場合があります。
- 本人が動けない等の状況により家の開錠をお願いする場合があります。

(緊急連絡先として鍵を預かる方が近くにいない場合、合鍵保管場所・入室可能な入口等を緊急連絡先の方に伝えておくことや、消防が鍵を壊して入室することなどで対応することになります。)

もしも…の時、連絡手段を確保していますか？

(三条市高齢者生活支援事業)

緊急通報装置を貸し出します



- 1 対象者** 三条市内に住所がある65歳以上のみの世帯の方で、以下の電話回線をお持ちの方

機器の種類	対象者
固定電話型 (固定電話回線を利用する機器)	ご自宅にNTT等の固定電話回線がある方 ※NTTのアナログ回線以外の場合、システムが正常に動作しない可能性があります。 ※以下の固定電話の回線は本サービスを利用できません。 KDDI「ホームプラス電話」 ソフトバンク「おうちのでんわ」「おとくライン」
携帯端末型 (携帯電話等の端末を利用する機器)	携帯電話、スマートフォンをお持ちの方

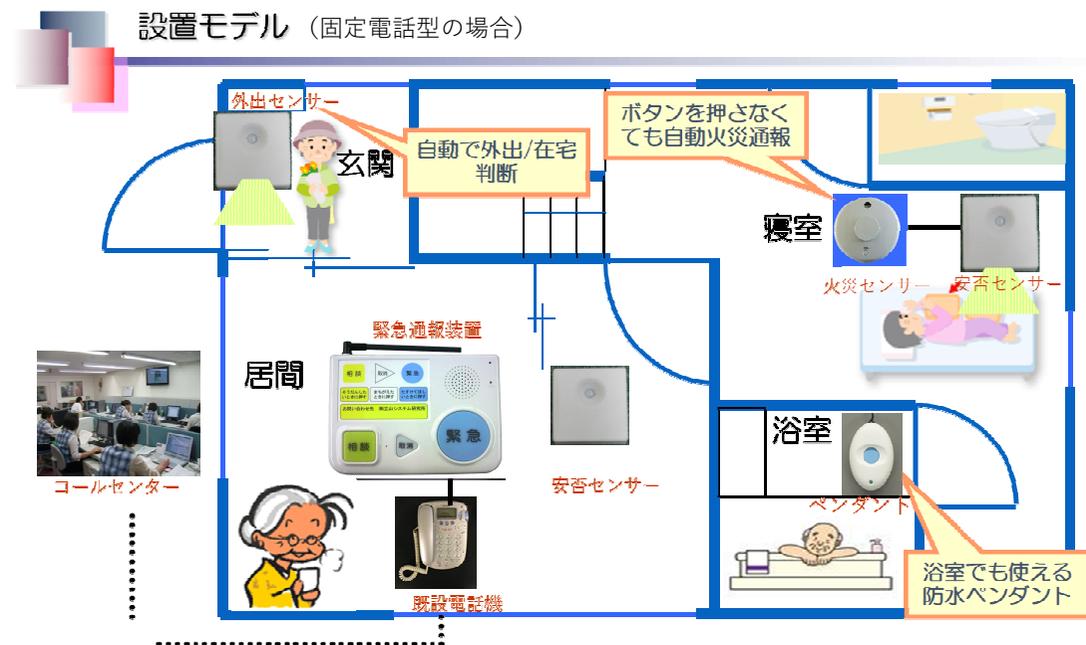
- * 65歳未満で「持病」や「障がい」を理由に装置が必要な方は御相談ください。
- * 固定電話をお持ちでない場合は、電話を貸し出すサービス(対象者要件及び設置・撤去費用の自己負担あり)もあります。

【問合せ先】 三条市福祉保健部 高齢介護課 介護保険係
0256-34-5476 koureikaigo@city.sanjo.niigata.jp

2 サービス内容等

主なサービス内容	貸し出し用具
<p>●緊急通報サービス 急なけがや病気などの緊急時に、看護師や保健師が詰めるコールセンターで利用者の状況を確認し、状況に応じて消防署への通報や緊急連絡先への連絡を行います。</p> <p>(固定電話型) 本体の緊急ボタンを押すと、コールセンターに直接つながります。</p> <p>(携帯端末型) 本体の緊急ボタンを押すと、コールセンターに通報が届き、コールセンターからお手持ちの携帯電話等に電話がかかります。</p>	<p>緊急通報装置本体 (1台) 緊急時に使用しやすい場所(居間など)に取り付けます。</p> <p>固定電話型 </p> <p>携帯端末型 </p>
<p>●健康相談サービス 生活や健康などについて気軽に相談できます。</p> <p>(固定電話型) 本体の相談ボタンを押すと、コールセンターにフリーダイヤルでつながります。</p> <p>(携帯端末型) 本体の相談ボタンを押すと、コールセンターからお手持ちの携帯電話等に電話がかかります。</p>	
<p>●緊急通報サービス 風呂場や庭などでも緊急ボタンを押すことでコールセンターに通報が届きます。</p>	<p>ペンダント型装置 (1台・防水、電波到達距離見通100m)</p> <p></p> <p>持ち運びができ、風呂や庭先などで使用できます。</p>
<p>●火災通報サービス 火災警報器が火災(煙)を感知すると、音でお知らせし自動的にコールセンターにつながります。状況に応じて消防車の手配を行います。</p>	<p>火災警報器 (1台)</p> <p></p> <p>寝室等に取り付けます。</p>

主なサービス内容	貸し出し用具
<p>●安心見守りサービス センサーが利用者の動きを一定時間感知しない場合にコールセンターへ信号を送り安否確認を行います。おおむね4～9時と15～20時に動きが感知されない時に通報されます。</p>	<p>センサー (3～4台)</p> <p></p> <p>寝室や居間等に取り付けます。</p>
<p>●お元気コール 定期的に(月1回)コールセンターから利用者に電話し体調などを伺います。</p>	



資料提供：立山科学株式会社